



市長随筆



中国とミャンマーの大災害に思う

5月11日、長崎県の橋湾を震源とする震度5強の地震が発生し、五和町御領を中心に甚大な被害が発生したとの想定で、天草市総合防災訓練を実施しました。

その翌日に、中国・四川省でマグニチュード8.0の大地震が発生、「災害はいつ起こるか分からない」ということを、改めて実感しています。

この地震で何万という人々が、倒壊した建物の下敷きになり、死亡者の数が、日が経つにつれて増えていく状況を見るたびに、何か無念さのよくなものを感じて仕方ありませんでした。

先月のミャンマーでのサイクロン災害もそうでしたが、住宅や道路など災害に対する社会基盤の脆弱さや救助活動などの遅れが、被害をさらに大きくしているという現実を、改めて、災害に強いまちづくりと災害に対する日ごろの備え、訓練がいかに大切であるかを痛感しています。

天草市長 安田 公寛

宝島の健康 よろず屋



松下 光徳 さん (下浦町・82歳)

—— 毎日の楽しみは？
花や野菜を作るのが好きで、毎日2～3時間ほど手入れをしています。アジサイなどのさし木をして根がつくと、うれしい気持ちになりますね。また、魚釣りやグラウンドゴルフなども楽しみの一つです。

健康の秘訣は？

早寝・早起きをし、1日3度の食事をきちんとするなど、規則正しい生活を心がけています。また、3世代がいっしょににぎやかに暮らしていることも、健康にいいのかもしれない。



わ かつさい 若っ喝采

楠森 正樹 さん (有明町大浦・25歳)

魚釣りが大好きで仕事が早く終わったときや休みの日には、よく釣りに出かけています。釣りの醍醐味は、ねらった魚が針に食いつく瞬間をじっと待つ、この無心になれるところが何とも言えないおもしろさだと思います。皆さんも天草の海で釣り糸を垂らしながら、ゆったりした時間を過ごしてみませんか。



お秋迎様の誕生日「はなまつり」での「うさぎ組」

病児保育で 子どもたちを守る

愛隣保育園

亀場町にある愛隣保育園(坂本 馨園長・全園児141人)では、平成8年に熊本県下で最初に病児保育を始めました。

これ以前も、保育中に子どもの容態が悪くなったりとき、保護者に代わって病院へ連れて行っていました。

久玉保育園

久玉保育園(三宅 征四郎園長・全園児85人)では、仏教保育の精神である「明るく」「正しく」「仲良く」の理念のもと、子どもたちの思いやりの心とたくましい身体の育成を目指しています。

集団生活の中で、食育や教育などを通じて、豊かな感性や感謝の心を育て、健康でじょうぶな身体をつくり、のびのびと自己表現できる子どもになるよう、たくさんの遊びや体験活動などに取り組んでいます。

本保育園では、保護者が働いている、いないにかかわらず施設利用ができるようになりました。今後は、子育て中の家庭に相談・集いの場を提供するなど、地域の子育て支援をさらに充実させていきます。

の年から、伝染性が低い病気と医師が診断した場合に限り、園内での保育を実施。平成19年度からは、病院と契約を行い、インフルエンザなどの伝染性が高い病気でも、病院の一室で職員が付き添えるようになりました。この病児保育は、年間131日、延べ206人の利用となつています。



職員がやさしく接し、子どもを安心させます



ウミガメの観察を通して、環境問題について発表(平成19年度)

「元気があれば何でもできる」を合言葉に...

高浜小学校

高浜小学校(工藤 英治校長・全校児童49人)では、「かしこく ゆたかに のびゆく浜っ子」を校訓に、子どもたちは朝のあいさつ運動から放課後の部活動まで、元気いっぱい学校生活を送っています。

中でも、朝のあいさつ運動では「おはようございます！」の元気な声が、あちらこちらで響いています。また、恵まれた自然環境を生かして、毎年、地域のウミガメ博士のご指導のもと天草西海岸に卵を産みにくるウミガメを観察し、産卵に適した環境の保全について学習を重ねています。

これからも『元気があれば何でもできる』を教員・児童・保護者の合い言葉に、何にでも堂々と胸を張って取り組んでいきます。

天草工業高校(中山 秀利校長・全校生徒615人)は、県内有数の施設・設備を備えています。これを地域のためにも生かそうと、開放講座や小・中学生向けの実技指導講習会の実施、養護学校への寄贈品の製作などに取り組んでいます。中でも、機械倶楽部

の生徒がつくったミニ電車「つばめ・アンパンマン号・SLマン号」は、天草地域のみならず、県内で開かれる多くのイベントで活躍しています。同倶楽部の生徒もボランティアとして参加し、子どもの笑顔に触れることで、製品を完成させる充実感を得るだけでなく、人として大きく成長しているようです。



子どもたちに大人気のミニ電車「SLマン号」

ぼくのわたしの学校生活 自慢